

<b>科目コード</b>	62110	<b>授業科目</b>	継続保健看護教育Ⅱ Continuing Education in Nursing and HealthⅡ			<b>担当教員</b>	○嘉手苺英子 未定 舟島なをみ(非常勤)	
<b>開講年次</b>	博士後期課程1 年次後期	<b>単位数</b>	2単位	<b>科目分類</b>	コア科目	<b>授業形態</b>	講義	
<b>選択必修</b>	選択	<b>時間数</b>	30時間					
<b>講義概要</b>	看護基礎教育課程から卒後の継続教育に至る看護生涯教育の現状と課題の理解を前提に、看護専門職のキャリア開発と看護生涯教育への支援システムの構築について教授する							
<b>到達目標</b>	1 看護における専門分化の方向性とエキスパート・ナース育成の必要性について説明できる。 2 看護専門職のキャリア開発と看護生涯教育への支援システムについて考察できる。 3 看護基礎教育から継続教育に至る看護生涯学習の現況と課題について理解を深める。							
<b>講義回数</b>	<b>授業内容及び計画</b>					<b>担当者名</b>		
第1回 第2回	「継続保健看護教育Ⅱ」の導入、学習課題の共有 看護基礎教育から継続教育に至る看護生涯教育の現状と課題					嘉手苺 未定		
第3回 第4回	看護職者の生涯学習ニーズとその支援システム 人間のライフサイクルとキャリアサイクル					未定		
第5回 第6回	人間の成熟過程と看護専門職者のキャリア開発 同					未定		
第7回 第8回	研究(文献)からみた看護職者のキャリアの実態と課題 同					未定		
第9回 第10回	エキスパートナース(専門看護師、認定看護師)育成の現状と課題 同					嘉手苺		
第11回 第12回	看護における専門分化とその方向性(米国の動向との比較) 同					嘉手苺		
第13回 第14回	研究からみた看護継続教育の課題 同					舟島なをみ		
第15回	総括					嘉手苺 未定		
<b>テキスト</b>	指定はない。関連資料、文献などを適宜配布する。							
<b>参考文献</b>	初回講義で紹介する							
<b>成績評価の方法</b>	講義への参加状況(討議への参加、プレゼンテーション)、レポート							
<b>備考</b>	授業は院生のプレゼンテーション・討議を中心に進める。							

科目 コード	62121	授業 科目	保健看護と研究Ⅱ (研究デザイン編) Health Nursing Research II (Reserch design)		担当 教員	○神里 みどり 前田 和子(非常勤) 玉城 清子(非常勤)	
開講年次	博士後期課程 1年次前期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目・コア科目	授業 形態	講義
選択必修	選 択	時間数	30時間				
授業概要	この科目は保健看護と研究Ⅰで研究の基礎を学んだ後に履修するオムニバス科目である。この科目では博士論文の研究計画を書くために必要な基本的知識を学ぶ。量的研究、質的研究、混合研究法をデザインしていく際に必要となる概念枠組み、研究プロセスとそのアプローチについて、必要な基本的知識を学ぶ。						
到達目標	1.研究計画をデザインする際に必要な基本知識を、学生自身の修士論文を材料に説明できる。 2.博士論文の研究計画を書き上げるまでのプロセスに必要な基本的知識を説明できる。						
回数	授 業 内 容 及 び 計 画						担当者名
第1回	オリエンテーション、 研究デザイン						神里 前田
第2回	デザインの枠組み①						前田
第3回	デザインの枠組み②						前田
第4回	文献レビュー①						神里
第5回	ゲストスピーカー：私の戦略						神里
第6回	文献レビュー②						前田
第7回	執筆作戦と倫理的配慮						前田
第8回	序論について						前田
第9回	目的の言明						前田
第10回	研究上の問いと仮説						前田
第11回	理論の活用						神里
第12回	定義、限界、意義						玉城
第13回	量的研究法の研究計画						玉城
第14回	質的研究法の研究計画						神里
第15回	混合研究法の研究計画						神里
第16回	看護学の発展のための研究①						非常勤
第17回	看護学の発展のための研究②						非常勤
テキスト	John W. Creswell. (2003/2007). 操華子, 森岡崇 (訳), 研究デザイン. 日本看護協会出版会.						
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J.W.クレスウェル他著、大谷順子訳：人間科学のための混合研究法.北大路書房.2010</li> <li>・ビヴァリー M. ヘンリー著・上田礼子監訳：看護研究ハンドブック. 医学書院、2004</li> <li>・キャロル・ガービッチ著、上田礼子他訳：保健医療職のための質的研究入門. 医学書院、2003</li> <li>・D. F. Polit &amp; C.T.Beck (2004/2011). 近藤潤子 (監訳), 看護研究 原理と方法. 医学書院.</li> <li>・澤田昭夫著</li> </ul> その他、適宜、参考文献、課題文献等を示します。						
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況、事前準備（課題レポート含む）、授業への貢献度から目標1,2の達成度を評価（前田）</li> <li>・学生の出席、パフォーマンス、プロセス、学習成果を総合的に評価します。</li> </ul>						
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中講義で行いますが、都合により講義の順序は入れ替わることがあります。</li> <li>・すべての授業に出席し、活発に参加することが求められます。</li> <li>・授業は講義、PBL、ゼミナール形式など多様な方法で行います。</li> <li>・学生のチームワーク、創造性、革新性が強く期待されます。</li> </ul>						

<b>科目コード</b>	62122	<b>授業科目</b>	保健看護と研究Ⅱ(執筆編) Health Nursing Research II (Writing)		<b>担当 教員</b>	○神里 みどり 前田 和子(非常勤) 他		
<b>開講年次</b>	博士後期課程 1年次後期	<b>単位数</b>	2単位	<b>科目 分類</b>	必修科目		<b>授業 形態</b>	講義
<b>選択必修</b>	選 択	<b>時間数</b>	30時間					
<b>授業概要</b>	博士論文を執筆するための基盤となる方略を学修し、質の高い論文作成の実際について学ぶ。							
<b>到達目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究論文の基盤となる論文構成について述べることができる。</li> <li>2. 研究論文のアウトラインが記述できる。</li> <li>3. 質の高い研究論文について吟味できる。</li> <li>4. 研究論文の概要を記載することができる。</li> </ol>							
<b>回数</b>	<b>授業内容及び計画</b>						<b>担当者名</b>	
	オリエンテーション						神里	
第1回	論文の構成						神里	
第2回	文献レビューの実際・統合・文献マップの作成						前田	
第3・4回	研究目的・研究設問・理論的枠組の作成						前田	
第5・6回	研究方法とその手順の実際						神里	
第7・8回	結果の書き方						神里	
第9・10回	考察の書き方						神里	
第11・12回	博士論文の具体的な展開例：邦文2件以上						前田	
第13・14回	博士論文の具体的な展開例：英文2件以上						前田	
第15回	看護学の発展のための研究						非常勤	
<b>テキスト</b>	John W. Creswell(2003/2007).操華子・盛岡崇(訳)、研究デザイン、日本看護協会出版会 J.W. クレスウェル、V.L.プラのクラーク著(2007/2010)、大谷順子(訳) 人間科学のための混合 研究法、北大路書房							
<b>参考文献</b>	D.F.ポーリット& C.T.ベック著(2004/2010)、近藤潤子(訳) 看護研究 原理と方法 第2版、 医学書院 キャサリン・ポープ、ニコラス・メイズ、ジェニー・ポペイ著(2007/2009)、伊藤景一、北素 子(監訳)、質的研究と量的研究のエビデンスの統合							
<b>成績評価 の方法</b>	評価は、討議への参画、プレゼンテーション、レポートによって総合的に行う							
<b>備 考</b>								